代表質問

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定

北川　裕之 議員
（新政みえ／名張市選出）

問　国に続き、県においても、県の人口の動向を分析し、課題や将来の方向性を示す「人口ビジョン」と、そのビジョンを踏まえ、5カ年の具体的な施策をまとめることとなる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、平成27年度中に策定することが求められています。かなり緻密な作業が必要になりますが、どのような体制・スケジュールで総合戦略を策定するのか、また、アクティブシチズンたる県民はどのような形で策定に関わることになるのか、お伺いします。

答　総合戦略の策定にあたっては、県民代表や、産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体、メディアのいわゆる産官学金労言の代表等で構成する「三重県地方創生会議（仮称）」を設置して、多様な主体からご意見をいただくこととしています。また、中間案の段階でパブリックコメントを行い、幅広く県民の皆さんのご意見をいただく予定です。

なお、総合戦略は、平成27年度中のできるだけ早い時期に策定できるよう努力していきます。

その他の質問事項

○少子化対策における課題　ほか

海抜ゼロメートル地帯対策

貝増　吉郎 議員
（自民みらい／桑名市・桑名郡選出）

問　本県の地震・津波対策や風水害対策における重要な課題に、桑名市や木曽岬町といった県北部の海抜ゼロメートル地帯対策があります。この地帯は、地震発生直後に堤防が壊れて浸水が始まる可能性があるにもかかわらず、南海トラフ地震対策特別措置法に基づく津波避難対策特別強化地域の指定から外れたことを受け、県は両市町と「県北部海抜ゼロメートル地帯対策協議会」を設置し検討を進めています。そこで、今後の対策についてお聞かせください。

答　協議会の検討結果を踏まえ、現在、両市町では避難計画を策定中であり、県は計画策定・実践に係る人的・財政的支援を行っていきます。また、海抜ゼロメートル地帯特有の「二次避難場所が確保できない」という課題に対応するため、広域避難のあり方について検討を進め、国に対しても広域避難施設整備に係る支援などを求めていきます。今後も協議会において進捗状況を確認しながら、必要な対策について検討を続けていきます。

桑員広域避難訓練の様子

その他の質問事項

○学校教育の進化について　ほか

一般質問

今後の三重県の観光振興

藤根　正典 議員
（新政みえ／熊野市・南牟婁郡選出）

問　国内宿泊旅行者数や訪日外国人旅行者数は、東日本大震災の年を除き、全体として増加傾向にあります。このような中、県では県内各地域の自然や文化、伝統、産業など特長を活かした三重県観光キャンペーンを進めていますが、外国人を含めすべての人をもてなす、本県の今後の観光振興に対する知事の考えをお聞かせください。

答　三重県観光の活力を維持するため、①インバウンド対策として東南アジア等を中心に重点的なプロモーションや受入環境整備に取り組むとともに、バリアフリー観光について県内全域で案内機能を高める取り組みを進めます。今後は三重県観光の持続的な発展に向けて、次期観光振興基本計画の策定にも取り組みます。

その他の質問事項

○地域交通の維持・確保について　ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しています。